

平成 24 年 8 月 28 日

各 位

### 企業講習会「企業緑地と生物多様性」開催のご案内

トンボはドコまで飛ぶかフォーラム<sup>\*1</sup>では、京浜臨海部の企業緑地において、10年間にわたり、企業、市民、行政、専門家の連携によりトンボを指標とした企業緑地の評価と価値について検討を行ってきました。

このたび、この成果をもとに2回にわたり標記講習会を別添プログラムのとおり、横浜市内に事業所をお持ちの企業等を対象に開催することとなりました。

つきましては、貴企業の緑地管理担当者、本社の環境・CSR 担当者、広報担当者などのご参加をお願いいたします。

なお、この事業は横浜市の後援（予定）を得て「横浜市みどりの夢かなえます事業助成金」を受けており、講習会の内容に対し参加費は安価な設定となっておりますので、多くの方のご参加をお待ちしています。

#### 第 1 回

日時：2012 年 10 月 4 日（木）9:30-16:30

場所：T's 横浜パシフィック

〒221-0052 横浜市神奈川区栄町 3-12

パシフィックマックス横浜イースト 11F

交通 横浜駅「きた東口 A」より徒歩 7 分

京浜急行線 神奈川駅 より徒歩 2 分

#### プログラム

午前 企業緑地と生物多様性

午後：「いきもの共生事業所®推進講習会」

#### 第 2 回

日時：2012 年 11 月 28 日（水）13:00 から-16:30

場所：JFE エンジニアリング（株）

鶴見製作所 シーフォーレ

内容 企業緑地のマネジメントとモニタリングの意義および事例紹介



参加費：10,000 円（全 2 回）

申込方法：メールまたは FAX にて、企業名、部署、参加者名 を記入の上、トンボはドコまで飛ぶかフォーラム ヨコハマ b ビジネス・プラットホーム準備委員会まで願います。

主催：トンボはドコまで飛ぶかフォーラム・ヨコハマ b ビジネス・プラットホーム準備委員会

後援：横浜市環境創造局（予定）

協力：企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）<sup>\*2</sup>、エコアセット<sup>TM</sup>・コンソーシアム<sup>\*3</sup>

連絡・申込先：トンボはドコまで飛ぶかフォーラム ヨコハマ b ビジネス・プラットホーム準備委員会

FAX 045-534-7597 E-mail tonbo@mail.goo.ne.jp

トンボはドコまで飛ぶかフォーラム

ヨコハマ b ビジネス・プラットホーム準備委員会

代表 吉田洋子

## プログラム詳細

### 第1回

日時：2012年10月4日（木）9:30-16:30（受付開始 9:00）

場所：T's 横浜パシフィック

### プログラム

#### 午前 企業緑地と生物多様性

目的：各事業所の緑地管理担当者と本社の環境・CSR担当者、広報担当者を対象に、ビジネスにおける生物多様性の重要性を理解し、本業における土地利用戦略に反映させるために必要な概念を、初心者にもわかりやすく解説いたします。

講師：トンボはドコまで飛ぶかフォーラム、インターリスク総研、横浜市環境創造局

内容：（3.0時間）

- ① はじめに トンボはドコまで飛ぶかフォーラムの活動の紹介
- ② ビジネスと生物多様性の関係  
生物多様性とビジネスが密接に関わっていることを解説いたします。身近な事例を交えながら生物多様性についてほとんど知識のない方でも理解いただける内容です。
- ③ ビジネスと土地利用の関係  
生物多様性に配慮した土地利用を実施するための概念について解説いたします。パート2に進むために必要な内容です。
- ④ 企業活動と横浜市の取り組み  
地域や他の企業と横浜市とが連携することで小さな負担で大きな効果を出せることをご紹介します。

#### 午後：「いきもの共生事業所®推進講習会」

目的：企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）が開発した「いきもの共生事業所® 推進ツール」3点セットをもとに生物多様性に配慮した土地利用について学びます。

本講習会は、企業の事業所において生物多様性保全に取り組む方々が実務に必要な基礎知識を学ぶためのものです。初心者から経験者まで、多くの方々に生物多様性に配慮した土地利用の考え方を理解し、これらのツールを活用していただくために、実際にそれらを使って評価を行いながら、初心者にもわかりやすく解説します。

なお、講習会参加者には、JBIBが通常単独で開催している講習会と同じ修了証を授与いたします。

講師：JBIB 持続的土地利用WGメンバー

内容：（3.0時間）

- ① はじめに
  - ② ツールの概要と事業所での生物多様性保全への取り組み方
  - ③ 事業所の生物多様性貢献度の評価方法（第1部）
  - ④ 事業所の生物多様性貢献度の評価方法（第2部）
- 教科書として、いきもの共生事業所® 推進ガイドラインを配布します。

## 第2回

日時：2012年11月28日（水） 13:00 から 16:00

場所：JFE エンジニアリング（株）鶴見製作所 シーフォーレ

### プログラム

#### 企業緑地のマネジメントとモニタリングの意義および事例紹介

##### 目的

生物多様性に配慮した土地利用に取り組む際には、従来の緑地管理とは異なる視点が必要になってきます。パート2で学んだ内容を具体化するための解説をいたします。

先進企業の取り組み事例を交えながら、初心者にもわかりやすく解説いたします。

講師：エコアセット<sup>TM</sup>・コンソーシアムメンバー

内容：（3.0 時間）

- ① はじめに
- ② 生物多様性に配慮した企業緑地の管理および利活用のための課題と改善
- ③ 企業緑地におけるエコロジカルネットワーク調査と生物多様性モニタリングの方法
- ④ 先進企業の取り組み事例(京浜での取り組み含む)

##### ※1 トンボはドコまで飛ぶかフォーラム

明治期以降の埋立てと工場立地により、全国でも最も早く近代化が進んだ京浜工業地帯に立地する企業の敷地内には法令等により一定規模の緑地が作られ、市民公開型の緑地やビオトープなど生物多様性の保全や臨海部と内陸部とのエコロジカルネットワーク形成の拠点としての役割が期待されています。

当フォーラムはこの企業緑地の価値に着目し、トンボを指標とした環境調査を企業、行政、市民団体、専門家、学校等が協働活動を行うため2003年に設立されました。京浜臨海部からはキリンビール（株）横浜工場、東京ガス（株）環境エネルギー館、JFE エンジニアリング（株）鶴見製作所、（株）東芝京浜事業所、（株）JVC ケンウッド、マツダ（株）R&D センター横浜の6企業が参加しています。

##### ※2 一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）

JBIBは、生物多様性の保全を目指して積極的に行動する企業の集まりです。正会員：34社（2012年5月31日現在）ネットワーク会員：15社（2012年5月31日現在）

国際的な視点から生物多様性の保全に関する共同研究を実施し、その成果を元に他の企業やステークホルダーとの対話を図ることで、真に生物多様性の保全に貢献する活動を展開していきます。

##### ※3 エコアセット<sup>TM</sup>・コンソーシアムメンバー

インターリスク総研、住友林業緑化、地域環境計画、住友林業の4社による、企業緑地資産活用コンサルティングのためのコンソーシアム。数々の企業向けコンサルティングで10年以上の活動実績を誇る。今回のフィールド見学先である愛知県「命をつなぐプロジェクト」でも主導的な立場でかかわっています。

## 参加申込書

氏名：

企業名：

部署

連絡先：

メール

TEL

参加費（10,000 円）を 10 月 2 日までに下記口座までお振り込みください。

振込先 横浜銀行 反町支店  
普通口座 6022380  
トンボはドコまで飛ぶかフォーラム

連絡・申込先：

トンボはドコまで飛ぶかフォーラム ヨコハマ b ビジネス・プラットホーム準備委員会  
FAX 045-534-7597 E-mail [tonbo@mail.goo.ne.jp](mailto:tonbo@mail.goo.ne.jp)

連絡欄

請求書発行の希望 : あり ・ なし (いずれかに「○印」をお願いします。  
請求書の送付先 : 〒  
住所  
企業名  
部署名  
担当者名

申し込み締め切り 平成 24 年 10 月 2 日 (請求書が必要な場合は 9 月 28 日)